

◆ 平成27年度活動報告シート ◆

団体名：柳瀬川の最上流をきれいにする会

代表者：会長 鈴木良一

URL :

1. 活動が必要とされた状況

毎月実施する川域自然環境維持・保全作業に必要な機器・道具類は前年度の助成等で補充整備が進んだが、機器道具類の管理保管場所の整備が求められていた。会の10周年記念を機に、保管管理するための道具類倉庫整備の要望が強かった。



2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

定例清掃と10周年で取組んだ「ホタル再生」活動を中心に運営された。 ホタル育成場の整備

4月には、ホタル育成場にセキショウ等の水辺植物を上流から移植。放流に向けた準備作業を急ピッチで実施。同時に高橋広場花壇の整備作業実施。

4/19（38名参加）ホタル放流実施。ヘイケホタル約1200匹余を育成場に放流。

5月ホタル育成場周辺を避け上流大鐘地区の孟宗竹の伐採整理実施。

6月～7月は中学生の川歩きはホタル養生のため中止としたので中学生参加者は少なかったが、高橋広場敷き砂利や花壇整備作業、大鐘地区の孟宗竹伐採、片付け作業など実施。

7月は、暑い中、夏時間（1時間前倒し開始）での作業。7月初めにホタル観賞会実施。

9月中流部広場の除草作業、川辺地域川岸のエゴマ、カシ、シュロ等の大木伐採作業実施。

10月は清掃イベント、予定日が雨のため、急遽、翌日順延のため参加者は半減したが、高橋周辺や中流域の除草作業、川歩き清掃、生物最終調査など実施。焼ソバ交流会も実施。

12月 中流域での真竹の片付け、高橋広場の花壇整備など

2月 前月末に降った雪のため倒れた中流域や八生橋付近での真竹片付け、回収、処分、高橋広場の花壇整備など実施。

今期の定例清掃は、2月時点で、延べ293名（定例清掃7回、平均41名）イベント1回70名の参加者を数えた。4月からホタル放流場周辺の清掃整備に注力し、ホタルパトロールを6月～7月中旬まで毎日夜間実施。夏の約1ヵ月半の期間、ホタルが飛ぶのが確認され多くの住民が毎夜、観賞見学に訪れ盛況であった。

上記活動以外に週1回の高橋広場周辺のみでの整理清掃作業を地区当番制で実施。9月初めに10周年記念事業を盛況裏に実施した。

3. 活動の成果

定例清掃活動を毎月第2日曜日に実施し、流域に倒れ込む竹や樹木、生長する竹類、草類の除去作業を実施した。また4月～7月のホタル対応作業、毎週、高橋広場前川道清掃などを実施。本助成による倉庫の整備で河川流域の環境保全作業道具や機器の保管管理が行き届き、活動が遅滞なくスムーズに進捗でき、大いに感謝している。

4. 今後に残された課題

◇清掃機器の管理保管管理者の育成：整備された清掃機器の管理運用に精通する担当の育成と保管環境の維持。

◇清掃活動の協働、協力団体の幅を広げ、「ホタルの飛ぶ」親しめる川を実現。

展望：水質保全が進みホタル回帰が自然定着するまで本格的取組みを粘り強く進める。